人間関係講座（コミュニケーション）第107回［秋］

-グループの中での人間関係の理解のために- 基礎コース

担当者	中尾　陽子（南山大学経営学部准教授） 伊東　留美（南山大学人文学部准教授）
概要	この講座は、「体験学習」という方法を用いて、楽しく参加しながら人間関係の主要領域についての理論と実際を同時に学びます。更に人間関係に関して自分自身の在り方に気づき、成長の手がかりを握み実践していくことを目指しています。ここでは、特に“自己理解と対人コミュニケーション”に焦点を当てて進めていきます。 この講座を学ぶねらいは以下の３つの分野です。 ① 自分自身の価値観・感情・興味など、自己理解を深めること ② 話したり聴いたりする時の自分の特徴に気づき、話す・聴くというコミュニケーション能力を高めること ③ 対人関係における感情の重要性に気づき、感情表現の多様性と幅を広げる ご自分についてより深く知りたいという方、日常や仕事上でのコミュニケーションで相手の話をよりよく聴けるようになりたいという方など、さまざまな方にお勧めです。 【プログラムの内容（予定）】 小講義「コンテントとプロセス」「体験学習のサイクル」「コミュニケーション・モデル」など コミュニケーション実習（実習「聴く」等）とふりかえり ノンバーバル・コミュニケーション実習（実習「セルフバッグ」等）とふりかえり 個人の気づきの実習（価値観明確化の実習等）
日程	2017年11月17日（土）　10：00～18：00 11月18日（日）　9：00～17：00　土日集中
定員	各36名
会場	南山大学　Ｄ棟5階　D51教室
受講料	11,200円（税込）
メルマガ 講座報告	担当講師　伊東　留美　記 <u>第107回人間関係講座（コミュニケーション）を終えて　－改めてプロセスから学ぶ －</u> 先日、11月4・5日（土・日）に第107回人間関係講座（コミュニケーション）　が行われました。今回は24名の参加者が全国（東は関東地域、西は山陰地域）から大学祭開催中の南山大学に集まってくださいました。 この講座では、過去あるいは今年度に人間関係講座（グループ）を受講された方が半数近く、またコミュニケーションも再受講という方も数名おられました。講座の中で中尾先生が、似たような内容の実習であっても、共に過ごすメンバーが変わると違った体験が生まれるので、そこで起こるプロセスの違いを味わっていって欲しい、というような言葉がけをされました。 改めて、体験学習は、「今、ここ」での体験が学びにつながり、同じ「コンテント」であっても、「プロセス」が違えば気づきも違うということを再確認したことがありました。「はなす・きく・みる」の実習の時、ある受講生の方が普段こんな風に人の話をきいているのかと振り返ったと言われました。この講座の中で、その方は普段なかなかできない「今、ここに」集中して、じっくりと人と関わる体験ができ、普段の「はなす・きく・みる」とは違うプロセスが起きたのでしょう。 コミュニケーションの講座を2回受講された方がいると前述しましたが、その方々も、この講座で学ぶコンテントはご存じであるのに再度受けられるのは、おそらくコンテントよりもその時々に起きるプロセスに集中する体験を求めておられるのでしょう。同志が集まり「学びの共同体」ができると、じっくりと今の自分を開示し、プロセスの中で豊かな学びの体験が生まれてくると思います。 私も、この講座の「今、ここに」で学ぶ人々のプロセスから、“simple communication（わかりやすい対話）”から始めようという新たな目標が見つかりました。ありがとうございます！また、お会いできることを楽しみにしています。